

アスファルト関係試験

アスファルト

日本で一般的に使われているアスファルトは、「石油アスファルト」といいます。常温では固体、半固体、粘性の高い液体で、熱を加えると容易に溶解する性質をしています。道路に使われるアスファルトは、「アスファルト混合物」といい、粗骨材、細骨材、フィラー（鉱物質粉末）などを所定の割合で混合して施工されます。

アスファルト混合物事前審査制度

沖縄総合事務局ならびに沖縄県では、「アスファルト混合物事前審査制度」を制定し、アスファルト混合物を工事で使用する前に混合所の品質管理方法や、製品の品質確認試験を行っています。当センターは、指定試験機関として、「アスファルト抽出試験」および「マーシャル安定度試験」を行っています。

★アスファルト抽出試験とは

有機溶剤を用いてアスファルト混合物からアスファルトを抽出し、アスファルト量と使用骨材の粒度を確認する試験

★マーシャル安定度試験とは

アスファルト供試体に破壊まで荷重をかけて「最大荷重（安定度）」と「変形量（フロー値）」を測定し、耐久性や性能を評価する試験

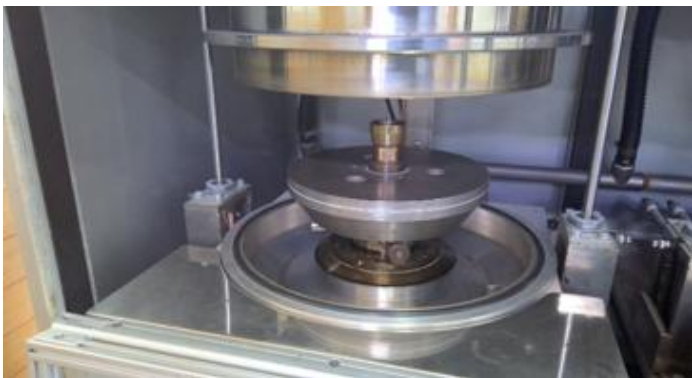


写真-1 アスファルト抽出試験

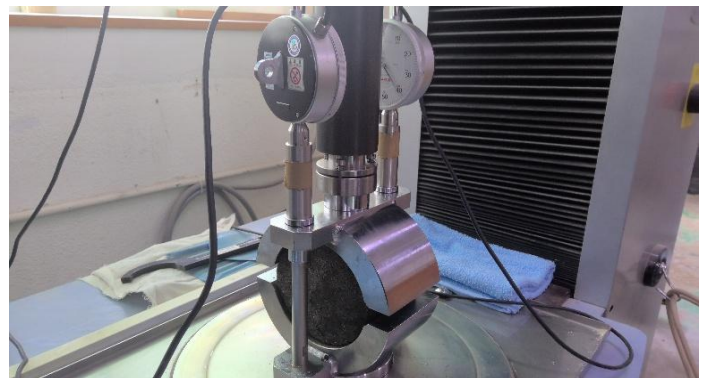


写真-2 マーシャル安定度試験